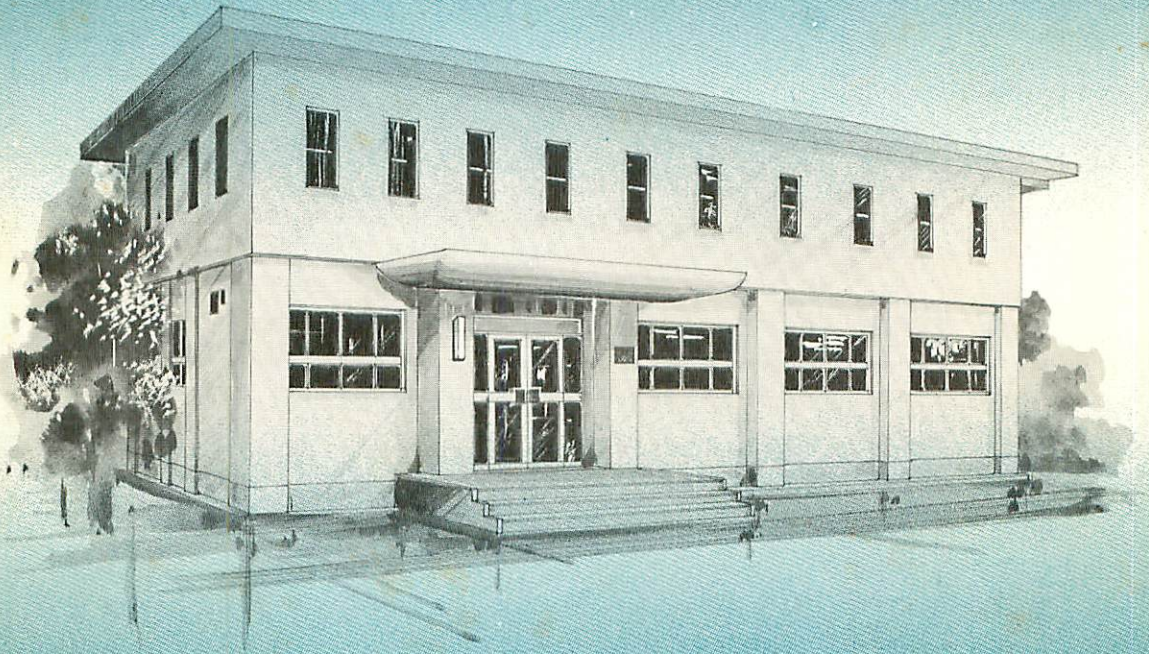


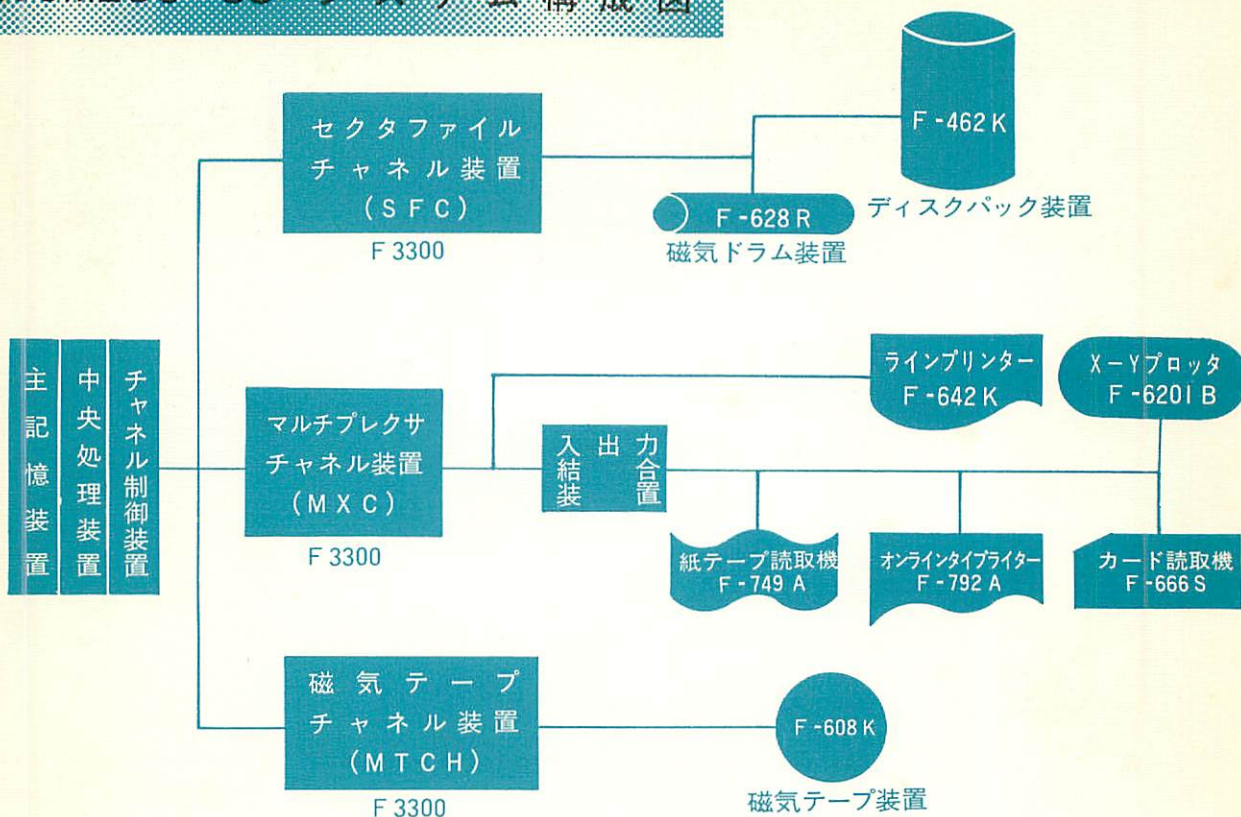
金沢大学計算機センター

概要



1973

FACOM230-35 システム構成図



構成機器一覧

機 器	型	性 能 ・ そ の 他
本 体	F 3300	サイクルタイム 0.5 μ s/2 B、98 K B
磁気ドラム装置	F-628 R	1,049 K B、10/8.4ms、225/269 K B/S
磁気ディスクパック装置	F-462 K	5,041 K B、87.5ms、156 K B/S
ラインプリンター装置	F-642 K	500~1,500行/分、活字62種136桁バッファ付き
紙テープ読取装置	F-749 A	400/200字/S、6/8単位
タイプライター装置	F-792 A	印字20字/S、活字128種、8単位
カード読取装置	F-666 S	300枚/分、たて読
X-Yプロッタ	F 620I B	400ステップ/S、ステップ寸法0.1mm、プロット幅270mm
磁気テープ装置	F-608 K	21.6 K B/S、800 RPI、9トラック、2デッキ1台

性 能

●記憶装置

サイクルタイム	0.50 μ s/2 B
容 量	98 K B
メモリプロテクト	2 K B単位

●演算速度

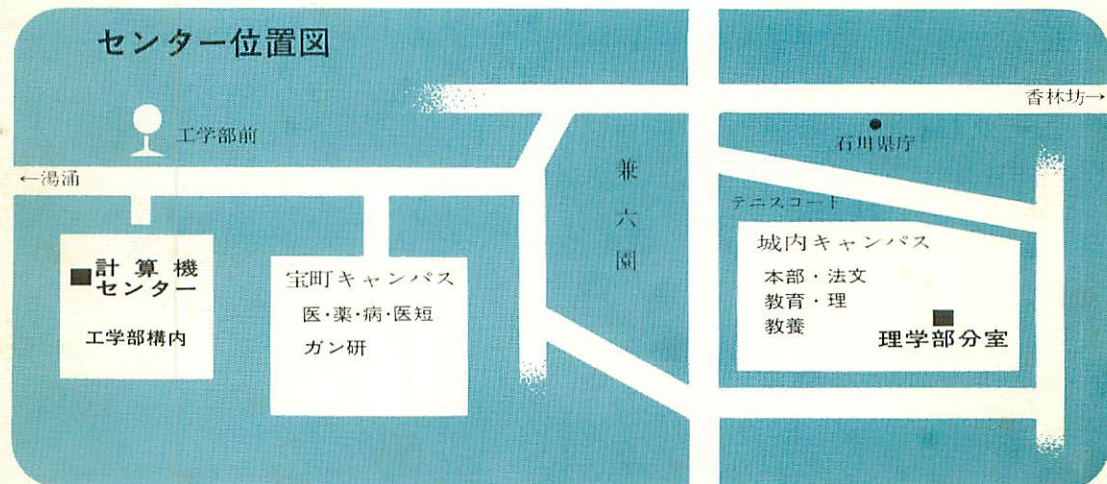
固 定 小 数 点		
加 算	1.30 μ s	
減 算	8.13 μ s	
乗 算	13.6 μ s	
除 算		
浮動小数点(1倍精度)		
加 算	7.15 μ s	
減 算	27.2 μ s	
乗 算	38.4 μ s	
除 算		
浮動小数点(2倍精度)		
加 算	9.86 μ s	
減 算	89.7 μ s	
乗 算	170 μ s	
除 算		
10進加減算(6桁)	7.50 μ s	
格 納、置 数	1.30 μ s	

●その他の仕様

語 の 構 成	2 B/語
ア ド レ ス 方 式	直接、相対、間接、相対・間接インデックス
汎 用 レ ジ ス タ	8個
割 込 み	6レベル多重割込み
命 令 数	84種

沿革

- 昭和38. 3 電子計算機室を理学部に設置。
- 38. 3 NEAC2230導入（購入費33,000千円）
- 38. 8 計算業務開始。
- 46. 1 金沢大学計算機センター（鉄筋コンクリート
2階建、延面積520㎡、総工費39,830千円）
を工学部に建設。
- 46. 3 FACOM230-35導入。（購入額90,000千円）
- 46. 3 金沢大学計算機センター規定できる。
(46. 4適用)
- 46. 4 バッチ方式による計算業務を開始。
- 46. 4 電子計算機室(理学部)が金沢大学計算機セン
ター理学部分室となる。
- 46. 9 コボルモジュール導入
- 47. 3 磁気ディスクバック装置導入。
- 47. 6 X-Yプロッタ導入。

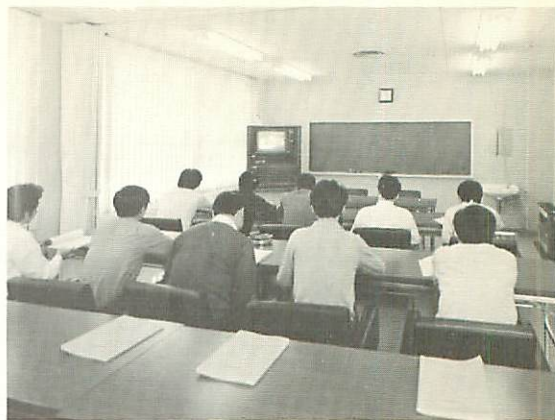


DATA PROCESSING CENTER KANAZAWA UNIVERSITY

金沢市小立野2丁目40番20号 〒920 TEL 昼(0762)61-2101(代) 内線291, 292 夜(0762)61-2108
理学部分室 : 金沢市丸の内1番1号 〒920 TEL (0762)62-4281(代) 内線536



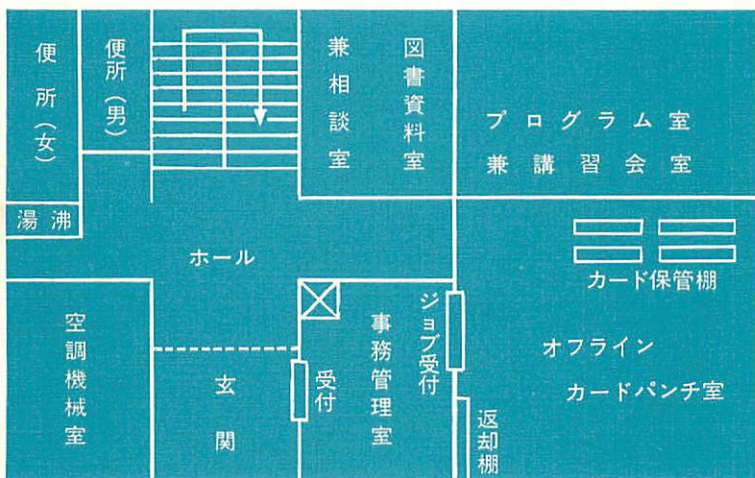
受付



モニターテレビ

建物平面図

(延面積520㎡)



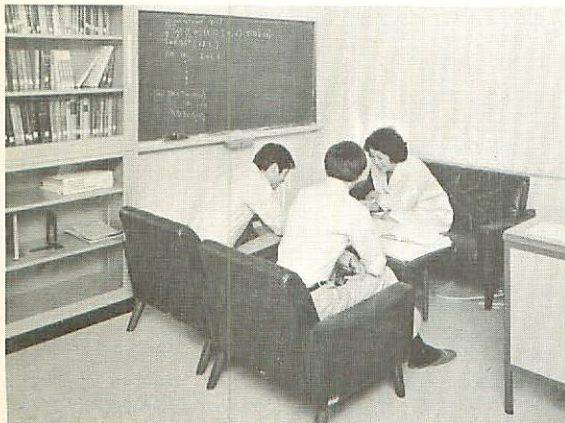
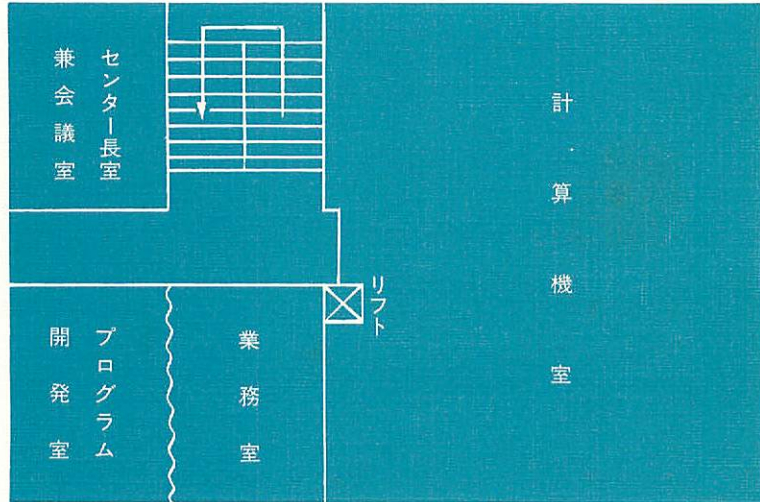
Ⅱ 階



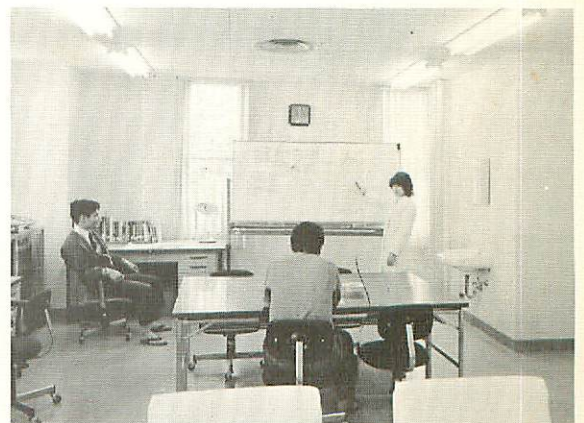
オフラインパンチ室



2階



プログラム相談室



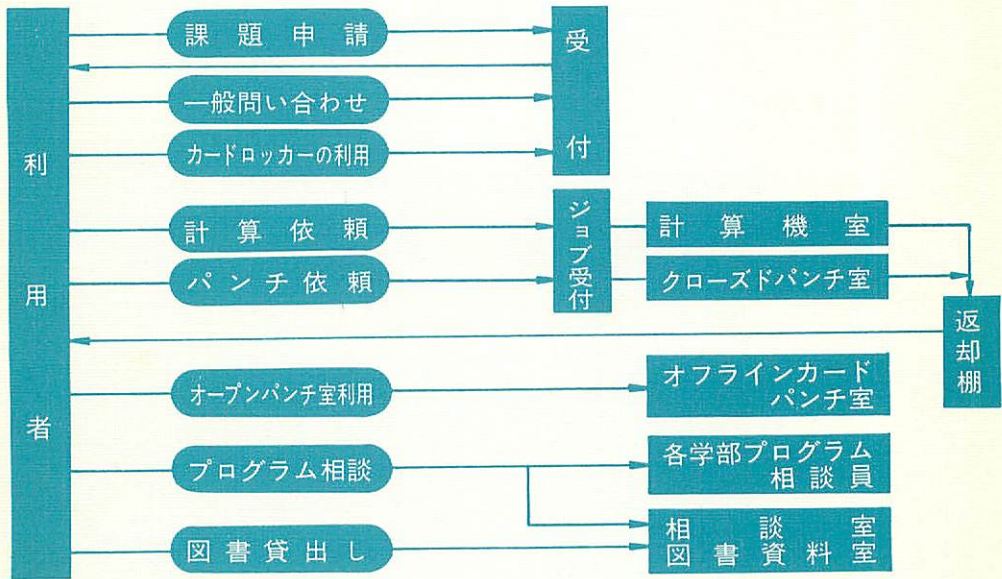
プログラム開発室

センターの利用

センターの利用に関しては「金沢大学計算機センター利用規定」に定められています。

センターを利用するには、所定の課題承認申請書に研究課題その他を記入し、センター長の承認により課題番号を受けることになっています。課題番号の有効期間は1年以内です。

計算機にかけられたプログラムと計算結果のリストは課題番号下2桁の数の棚に返却されます。センターではカード保管の便宜をはかっています。なお、受付は理学部分室でも行なっています。利用の手順は下図を参照して下さい。



利用状況

